

川西中学校 令和7年度人権教育講演会

6月6日(金)川西中学校において道德の参観授業と人権教育講演会を実施しました。今回の授業参観では、人権に関する題材をテーマとした道德の授業を観ていただきました。その後の人権教育講演会では、講師には哲学者の小川仁志様をお招きして、「ワクワクして生きる方法」という演題で講演をしていただきました。哲学というと難しそうなイメージなのですが、哲学によって「視点をかえる」「自分の常識を越えて考える」ことができるというお話を聴き、前向きな気持ちになることができました。また、ユニークな語りや生徒の意見を聴きながらお話を進めるスタイルで、あっという間に時間が過ぎました。中学生だけでなく、大人になっても様々な悩みや壁にぶつかることがあります、哲学思考で考え方だけでなく、生き方をも変えていくことさえできると思える時間となりました。



生徒の感想より

○今日の講演で視点を变えて自分の中の常識を越えることが大切だと分かりました。それを知って確かに視点を变えることで誰も知らないことに気づいたりするのでワクワクするし、興味を持って調べようと思いました。自分は死について怖いと思っています。だから生まれてきたことが少し嫌でした。でもお話を聞いて、視点を变えて考えると、生まれてきたからこそ、家族や友だち、先生方に出会えたのだと思いました。失敗することを恐れずにいろいろなことに挑戦しようと思いました。

○私は初めに小川さんが聞かれた「ワクワクしながら生きていますか？」という問いに手を挙げられませんでした。確かに小学1、2年生の頃は毎日学校に行って友だちと話してたくさんの新しいことに会えるかなとワクワクしていたのかもしれませんが。でも今はただ朝学校に来て勉強したり友だちと話したりするだけでワクワクしながら生きているわけではありませんでした。小川さんの話を聞いて思いました。大人に近づくにつれて知らないことが減っていくから新しい発見が少なくなるのでは？と。だから私は視点を变え、新しい発見ができる環境に自分がすればよいと考えました。私はこれからも知らないことをたくさん学んでいきます。その中でいつもの視点と少し変えた視点をもって、自分の考えをすぐに否定するのではなく、次はどんな考えが出てくるかとワクワクしながら生きていきたいと思っています。

川西中学校人権標語

- 1年 村田 光 「大丈夫？」 君の勇気が 救いの手
1年 上田 夢歩 支え合う 心と強さの 二刀流
2年 友納 優介 思いやりを つなげていけば 心の輪
2年 武居 航平 大丈夫 心の底では SOS



佐山人権の里だより

発行：佐山地区人権学習推進協議会

事務局：佐山地域交流センター内 TEL 083-989-3525

第 22 号
2025. 12

最近考えたこと『思いやり』

佐山地区人権学習推進協議会
会長 友清 三枝子

平素より明るい佐山里づくりの推進にご協力・ご支援いただき、厚くお礼申し上げます。自分たちがいかに幸せな生活を送ることができるかを考え、お互いに相手を思いあい、守りありたいと思うことが、人権です。お互いを認め合い、共感し、向き合うこと、他者の気持ちを自分のこととして思うことが大切だと思います。

先日行いました「佐山里づくり集会」にも、多くの方に参加していただきありがとうございます。その時に感じたのが、「思いやりの心」です。

レノファ山口FCレディースの田中陽子選手が、イ ジョンウン選手を思いやる心を感じました。二人の関係がとても良いのは、お互いを思いあっているからこそだと思います。田中選手は、普段から試合の中でも、チームメイトを思いあってプレーされていると聞きました。思いやりの心は、みんなが幸せになる基本だと思います。世の中一人では、生きていけません。自分が大切、自分が好き。でも、周りの人も大切・好きになって思いやる心をもって過ごすと、もっと幸せな気持ちになるのではないですか。



佐山地区青少年健全育成連絡協議会
会長 山田 貴弘

さやま保育園「考えてみる、話してみる、聴いてみる」 見えないハートの心 ~ふわふわことばとちくちくことば~

さやま保育園では、野菜を作るときも行事をするときも、どんな時でもサークルタイムをして、子ども達が意見を出し合ったり、お友達の思いを聞いたりして進めていきます。

ある日のサークルタイムでの出来事です。どうしても子ども達一人ひとりが感じてほしいお話があったので、ふだんは異年齢で保育をしています、この日は、クラス別・年齢別にサークルタイムを行うことにしました。

「先生の心もお友達の心も見えないけど、今日は先生の心が見えるようにしました。」と言って、白い紙にピンクのハートを書きました。「この間『ふわふわとちくちく』の絵本読んだよね、どんな言葉があったかな？ふわふわことばは？」「ありがとう」「すごいね」「だいすき」……「ちくちくことばは？」「だいきらい」「むかつく」「うるさい」「だあーめ」……先生が持っていたハートの白い紙が、少しずつゆがみ、そしてピンクのハートが崩れてきました。……「ばーか」「だっせえ」「きもっ」……ハートの紙が、先生の手の中でぐちゃぐちゃになり、先生の顔も悲しい表情になった時、「先生！ごめん！」「先生大丈夫？」「先生大好きだよ」「私も大好き」と、背中をさすりに来てくれる子もいました。抱きしめてくれる子、頭を優しくなでてくれる子。そしてくしゃくしゃになったハートの紙を、手で伸ばしながら、「元通りにならんね」「ちくちく言葉を聞いていたら、私も悲しくなってきた」「先生のハート見てたら心が痛くなった」「先生も、お友達も絶対悲しませたくない」どうしても子ども達に感じてほしかった「見えないハートの心」伝わったかな？ことばは心です。繰り返し繰り返し、子どもと共にいっしょに、ふわふわことばとちくちくことばのことば選びのお話を、続けていきたいと思います。



相談はこちらへひとりで悩まないで

電話以外にもインターネットやLINEでも人権相談をしています。詳しくは「インターネット人権相談」で検索してください。

☆様々な人権問題の電話による相談

みんなの人権110番 Tel 0570-003-110

☆セクハラ・家庭内暴力など女性の人権問題

女性の人権ホットライン Tel 0570-070-810

☆いじめ・虐待など子どもの人権問題

子どもの人権110番 Tel 0120-007-110

☆外国語での人権相談（10言語対応）

外国語人権相談ダイヤル Tel 0570-090-911



佐山小学校 人権教育参観日・佐山地区人権学習里づくり集会

佐山小学校では、10月23日(木)に人権教育参観日を開催しました。学年に応じて、相手の気持ちを考えることや自分の行動について振り返る授業が行われました。

授業後には、佐山地区人権里づくり集会が本校体育館で行われました。演題は「一流サッカー選手に学ぶ リスペクトする心 グローバルに生きぬくために」、講師にレノファ山口FCレディースの田中陽子選手、イ・ジョンウン選手をお迎えして行われました。

いずれも、多くの保護者や地域の方々にご参観いただきました。以下に、参観者の感想を紹介します。

〈授業参観の感想〉

・今回の授業で、「けんかはいけない」ではなく、モヤモヤした気持ちを伝えたから、最後はお互いにすっきりした気持ちになったことが、わかり合う上で大事だという展開にされていたことが印象的でした。我が子なりにモヤモヤ考えていることが多くて、自分で伝えるように話をすることが多いので、伝える大切さに気づいてくれたらいいなと思いました。

・もし、何か困ったこと、悲しいことがあった時に、みんなが言葉に出して、それに対してどうしたらいいのかを考えられる(話し合いが出来る)ようになったらいいなと思います。

・落ち着いたある雰囲気の中で、子どもたちが素直に、そして一生懸命に学習に取り組む様子を参観させていただきました。また、教室内、廊下の丁寧な掲示から、普段から一人一人を大切にした学級経営、授業作りが進行している様子が伺えました。



〈講演会の感想〉

・本物のスポーツ選手を身近に感じることができ、子どもたちに素晴らしい経験をさせていただいているなと感じます。勝ち負けではなくて、相手チームとも一緒に楽しむという話が印象的でした。楽しめることや好きなことを仕事にされていて、素敵だなと思いました。

・子どもたちと保護者、地域の方が一堂に会して学びを進めることに価値があったと思います。講師のお二人も、自分の言葉で大切なメッセージを発してくださいました。日本語を勉強中のイ・ジョンウン選手に寄り添う田中選手の姿がとて



も心に残っています。貴重な機会を設けていただき、大変ありがとうございました。

・プロサッカー選手の貴重な経験や向き合い方などを直接聞けて、とても興味深く参考になりました。

・子どもたちも興味深く聞いていたと思います。特に福島地震体験や海外での様子、普段知ることが出来ない話を生で聞けるのがよい機会だったと思います。

・出身国の違う選手が助け合いながら、子どもたちの質問に答えてくださっている様子が、学びの一つになったのではと感じました。

